

7月に随時改定実施

金パラ 今号に一覧表を同封

厚労省は7月1日から 413円から302円引
 歯科材料価格を改定す
 る。歯科鑄造用金銀パラ
 シウム合金が1号現行3
 10万2390円から90
 60円引き上げ、11万1
 450円となる。今号に
 一覧表を同封している。
 今回の改定は22年度か
 ら始まった、「変動幅」
 に関係なく4回(3カ
 月毎)に行われる新方式
 での「随時改定」による
 もの。5月にはウクライ
 ナ情勢の緊迫を背景とし
 た金パラ価格高騰への対
 応として緊急改定が行わ
 れている。

| 金パラ確定点数一覧 | | 現行点数 (2022.5) | 新点数 (2022.7) | 増減 点数 |
|-------------------|------------|------------------|-----------------|----------|
| インレー 単純 | 前・小臼 | 469 | 494 | 25 |
| | 大臼歯 | 600 | 637 | 37 |
| インレー 複雑 | 前・小臼 | 839 | 888 | 49 |
| | 大臼歯 | 1043 | 1110 | 67 |
| 4分の 3冠 | 前 歯 | 1056 | 1117 | 61 |
| | 小臼歯 | 996 | 1057 | 61 |
| 5分の 4冠 | 大臼歯 | 1265 | 1349 | 84 |
| | 小臼歯 | 1314 | 1390 | 76 |
| FMC | 大臼歯 | 1655 | 1762 | 107 |
| | 前歯・ 小臼歯 | 2245 | 2340 | 95 |
| 前装 金属冠 | 前歯・大 | 1817 | 1939 | 122 |
| | 前歯・小 | 1476 | 1568 | 92 |
| | 前装・前 | 2011 | 2085 | 74 |
| | 前装・小 | 1676 | 1768 | 92 |
| ポンティ ック | 前装・大 | 1877 | 1999 | 122 |
| | 前歯・大 | 1361 | 1459 | 98 |
| | 前歯・小 | 1120 | 1196 | 76 |
| 双歯鉤 | 大臼歯 | 994 | 1061 | 67 |
| | 小臼・犬歯 | 895 | 953 | 58 |
| 二腕鉤 | 前歯 | 847 | 901 | 54 |
| | 大臼歯 | 616 | 649 | 33 |
| コンビネ ーション 鉤 | 小臼・犬歯 | 566 | 595 | 29 |
| | 前歯 | 542 | 569 | 27 |
| 根面板 | 前・小臼 | 469 | 494 | 25 |
| | 大臼歯 | 600 | 637 | 37 |
| キーパー 付き根面 板 | 前・小臼 | 1138 | 1187 | 49 |
| | 大臼歯 | 1342 | 1409 | 67 |
| 鑄造バー | | 2231 | 2388 | 157 |

マイナ受付の義務化に抗議

江原政策部長が談話

政府がマイナンバーカードと保険証を一体化した「マイナ保険証」によるオンライン資格確認(マイナ受付)システムの導入を医療機関に義務付けることと、健康保険証の原則廃止を目指す方針を明らかにしたことを受け、協会の江原政策部長は11日、「マイナンバーカードによるオンライン資格確認の原則義務化及び保険証の原則廃止方針に抗議して撤回を求める」と談話を発表した。

談話は、マイナ受付システムの導入に伴う医療機関の負担やカード紛失などによる情報漏洩リスクなどの懸念が払拭されないなか、「政府は医療機関の不安を置き去りに強行しようとしている」と批判。

政府がマイナ受付導入のメリットとして挙げる特定健診・薬剤情報の閲覧やお薬手帳などで確認ができ、資格喪失後の受診等による返戻はレセプト全体の0.27%に過ぎないと指摘。「システム導入の必要性が極めて低

マイナンバーカード普及へ強硬策を明記

岸田政権が「骨太方針」

岸田文雄首相は7日、経済財政運営の基本方針である「骨太方針2022」を閣議決定した。軍拡と大企業の成長重視、社会保障費の抑制路線が際立ち、社会保障関連ではマイナンバーカードの普及方針を明記した。デジタルトランスフォーメーションに関して、21年の骨太方針を踏襲し「2022年度末にほぼ全国民にマイナンバーカードが行き渡ることを目指す」とした。これを受け、社会保障分野における24年度中を目途に保険者による保険証発行の選択制の導入へ向け「保険証の原則廃止を目指す」と明記するなど強硬策を盛り込んだ。

「2023年4月から導入を原則として義務付ける」と明記。患者によるマイナンバーカードの保険証利用が進むよう、関連する支援等の措置を見直すとした。

外交・安全保障の強化では、ロシアのウクライナ侵略や米中対立に乘じて、「防衛力を5年以内に抜本的に強化する」とことを盛り込むなど大軍拡を打ち出した。

技工士の年収400万円未満が過半数超

日技 2021歯科技工士実態調査

日本歯科技工士会は、歯科技工士の社会意識や就労状況などをまとめた「2021歯科技工士実態調査報告書」を4月19日に公開した。

1週間の残業を含めた就労時間では勤務者が平均52.3時間だったのに対し、自営者は66.3時間と大幅に上回った。1日8時間・週5日労働とすると、1日の残業時間は5時間を超え、長時間労働の実態が浮き彫りになった。

年収では「300万～400万円未満」が20.0%と最多で、「200万～300万円未満」18.8%、「400万～500万円未満」が14.5%と続いた。年収400万円未満で51.3%と過半数を占める状況となっている。

歯科技工を続ける上で問題となっている事項では、最多の「低価格・低賃金」が78.1%、「長時間

労働」64.2%、「社会的地位の低さ」51.5%、「歯科技工士不足」44.5%と続いた。

CAD/CAM装置 個人立75.8%が非所有

近年、保険導入が進むCAD/CAMの装置の保有状況では、「持っていない」との回答は法人立32.8%だったのに対し、個人立では75.8%を占めた。

調査は歯科技工士ならびに歯科技工業の実態把握のために3年ごとに実施。日技会員991人(勤務者571人、自営者420人)が回答した。

全体では「300～400万円未満」20.0%、「200～300万円未満」18.8%、「400～500万円未満」14.5%となっている。

| 年収 | n | % | | | | | | | 無回答 | | |
|------------|-----|---------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-----|-------------|--------------|
| | | 200万円未満 | 200～300万円未満 | 300～400万円未満 | 400～500万円未満 | 500～600万円未満 | 600～700万円未満 | 700～800万円未満 | | 800～900万円未満 | 900～1000万円未満 |
| 全体 (2021年) | 991 | 12.5 | 18.8 | 20.0 | 14.5 | 8.2 | 7.6 | 2.7 | 1.9 | 4.9 | 7.3 |
| 勤務・自営別 | 571 | 11.0 | 20.8 | 25.6 | 16.8 | 9.3 | 7.7 | 1.8 | 1.4 | 4.5 | 3.9 |
| | | 420 | 14.6 | 15.9 | 12.4 | 11.2 | 6.9 | 7.6 | 4.0 | 4.0 | 9.6 |

新型タバコの健康リスクは？①

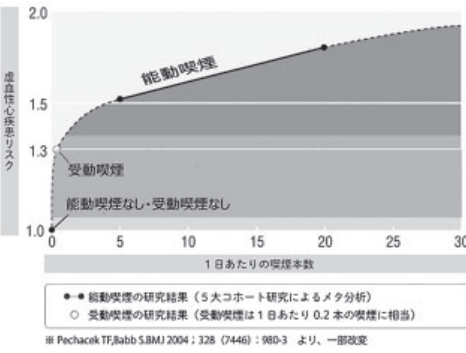
新型タバコから発生するエアロゾルは、単なる水蒸気ではない。加熱式タバコを使用した場合のニコチン摂取量は、従来の紙巻タバコと比べほぼ同等かやや少ない程度であり、発がん性物質であるニトロソアミンは紙巻タバコと比較すれば十分の一程度と少ないものの、この量が化粧品などの商品から検出されれば即座に回収・大問題となるレベルである。

電子タバコでも成分分析の結果から、製品によるばらつきがあるものの、発がん性物質であるホルムアルデヒド、アセトアルデヒドやアクロレイン等の有害化合物の発生が検出されている。電子タバコには加熱温度が非常に高く設定できる製品があり、そういった製品の場合には紙巻きタバコよりも多量のホルムアルデヒドが検出されたと報告されている。

1日1本でも 新型タバコのリスクを評価するために、これまでに数多く実施されてきたタバコの害に関する研究が役に立つ。受動喫煙および喫煙本数に応じたリスクを評価する研究により、少しのタバコの煙への曝露や1日1本の喫煙でも疾患発症リスクが高いと分かっている(図)。たいていの喫煙者は1日当たり20本のタバコを吸う(ニコチンの血中濃度を維持するために30分〜1時間に1本のタバコを吸うように仕向けられている)。1日20本の人のリスクは約1.8倍(80%のリスク増)である。喫煙本数がその4分の1、1日5本の人のリスクは約1.5倍(50%のリスク増)である。1日5本の人のリスクは、1日20本の人の約63%(50÷80×100=62.5%)のリスクである。

新型タバコのサイエンス⑤ 田淵貴大 (大阪国際がんセンター・がん対策センター疫学統計部部長補佐)

図 紙巻タバコのリスク：一日当たりの喫煙本数と虚血性心疾患リスク



喫煙本数を4分の1にしても、リスクは半分にもならない。有害性は同等

また、肺がんリスクの研究から、喫煙本数が多いことよりも、喫煙期間が長いことがよりリスクを高めると分かっている。喫煙本数を減らしたとしても喫煙期間が長ければ、肺がんリスクは大きいのである。さらには、呼吸器障害や循環器系障害を調べた動物実験等により加熱式タバコと紙巻きタバコの有害性に差がないとする研究結果が報告されてきている。

こういった情報を総合して、加熱式タバコを吸っている人のリスクは、紙巻タバコよりも低いとは言えない、と考えられる。米国の専門家も、同意見のようだ。米国では、フィリップモリス社がアイコスを「リスク低減タバコ」として米国食品医薬品局(FDA)に申請し、フィリップモリス社が提出した科学的資料に基づき審査された。2018年1月のFDA諮問委員会では、加熱式タバコが紙巻タバコに比べて、リスクが低いとは言えないと、フィリップモリス社の主張は退けられたのである。9人の委員のうち、8人(1人は棄権)が「紙巻きタバコからアイコスに切り替えても、タバコ関連疾患リスクを減らせない」と回答した。